

北関東信越ブロック大会（平成28年8月23日～24日・群馬県：伊香保温泉福一）

第47回北関東信越ブロック大会に先立って、幹事県の群馬県専修学校各種学校連合会の創立70周年記念式典が行われた。ブロック大会には約160名が出席。大会テーマは「職業専門大学（仮称）の方向性と専修・各種学校の展望」。

全体会では、開会のことば、国歌斉唱に続き、幹事県として群馬県の中島利郎会長が歓迎の言葉をかねて開会のあいさつ、主催者を代表して八文字典昭北関東信越ブロック会長があいさつを述べた。次いで、大澤正明群馬県知事（代理出席・村手聡副知事）、全専各連の小林光俊会長が来賓祝辞を述べ、来賓の紹介と祝電の披露があり、1日目全体会が終了。

全体研修会は、文科省専修学校教育振興室の白鳥綱重室長が専修学校関連施策についての概況報告を行った後、東日本栄養医薬専門学校の萩野恵史教員が職業実践専門課程事例発表を行った。

小憩をはさみ、全専各連の岡本比呂志副会長が新たな高等教育機関の制度化についての報告を行った後、赤池誠章文参議院議員が、専修学校振興議員連盟の熊本地震への対応および職業実践的な教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する自由民主党の取組等を踏まえ祝辞を述べ、最後に全専各連事務局から全専各連活動報告が行われ、1日目を終了。

2日目全大会は、5県の担当官による行政施策報告が行われた後、大会決議が行われ、北沢俊春群馬県副知事が文案を読み上げ、全会一致で採択された。次に、次期開催県提案が行われ、茨城県に決定、最後に中島群馬県会長が閉会にあたりあいさつを述べてすべての日程を終了した。

採択された大会決議は以下のとおり。

【大会決議】

日本社会は人口減少や高齢化社会、グローバル化等により、大きな変化の転換期を迎えている。産業界は国内における新たな事業創生に力を注ぐとともに、東南アジアなど国外の大市場へ商品・人材・サービスを売り込む生産拠点を確保するため、各地域で活発な経済活動が推進されている。

国内のあらゆる業界の職種において、人材不足という雇用環境はますます深刻化しており、企業や諸団体は人の確保ができないために経営に窮している状況にあると言える。

このような現状にあって、専修学校・各種学校の役割は以前にも増している。

そのため、われわれが社会の変化に適応した様々な職業教育を提供することにより、社会人の学び直しや、働きたい女性の再就職支援の教育訓練、外国人留学生の受入れと卒業後の就職支援等に貢献することが、期待と共に強く求められている。

本ブロック大会では、文部科学省、各県当局と連携協力するとともに、社会的責任を果たすため、次の6項目を要望するものである。

記

- 1) 職業実践的な教育に特化した、新たな高等教育機関制度化の早期実現を求める。
- 2) 「職業実践専門課程」認定制度の普及・検証と質保証向上の取組みへのより一層の支援を求める。

- 3) 専修学校生が経済的理由により修学を断念することなく安心して学べるよう、国・地方公共団体に対し給付型奨学金制度の創設や授業料減免に対する支援を強く求める。
- 4) 公共職業能力開発施設と専修学校・各種学校との競合を回避し、役割分担の徹底を求める。
- 5) 社会人の学び直しと、教育訓練給付制度の認定を受けた「職業実践専門課程」を有する専門学校の指定講座の推進と支援を求める。
- 6) 専門士・高度専門士を取得した外国人留学生の就労を可能にする、在留資格の拡充と制度の早期実現を求める。

平成28年8月24日

全国専修学校各種学校総連合会

第47回北関東信越ブロック大会